

開講科目名 / Course	生体反応学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	市瀬 孝道	
担当教員名 / Instructor	市瀬 孝道	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	物理、化学、生物学的な外的要因や自己免疫、ホルモンや遺伝的な内的要因によって起こる病気の成り立ちやしきみを習得するために、これらの要因による生体反応機構や病的変化を、病気の一般的な原理・通則に従って講義する。	
到達目標	1. 病気の一般的な退行性変化、進行性変化、循環器障害、代謝障害、炎症・免疫・アレルギー、腫瘍病変、先天異常といった原理・通則に従って病気の成り立ちやしきみを説明できる。 2. 看護実践の場で患者の病気がこれらのどの種類（カテゴリー）の病気であるのかを判断できる。	
DPとの対応	1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	01. 病気の内因と外因 02. 退行性変化 03. 進行性変化 04. 循環器障害 05. 代謝障害 06. 炎症 07. 免疫 08. アレルギー 09. 腫瘍 10. 先天異常	
その他の授業の工夫	復習や国家試験に役立てられるように病変の各カテゴリーを2ページにまとめたプリントを配布するとともに、視覚的に学べるようにパワーポイントを用いて講義する。	
時間外学修	予習では教科書の講義箇所を事前に読み、おおよその内容を理解しておく。復習では教科書やプリントを用いて重要なポイントとなる知識を整理し、教科書の付録（病理学整理ノート）を活用して試験に向けたトレーニングを行う。	
評価方法と評価割合	筆記試験100% （60点以上を合格とする）	
テキスト	カラーで学べる病理学（ヌーヴェルヒロカワ）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		